

平成 23 年度
森林整備事業における
完了後の評価結果（案）
（代表事例）

完了後の評価個表

整理番号	6 - 1
------	-------

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	福井県
ふりがな 地域(地区)名	いけだ 池田地区	事業実施主体	福井県、池田町 池田町森林組合等
関係市町村	池田町、南越前町	管理主体	池田町、南越前町
事業実施期間	H 1 3 ~ H 1 7 (5 年間)	完了後経過年数	5 年

事業の概要・目的	位置等 当地区は、福井県東南部、池田町の全域と南越前町の一部で構成され、周囲を部子山(1,464m)、冠山(1,257m)、金草岳(1,227m)をはじめとする山々に囲まれ、池田町は、福井市に流れる足羽川の源流域になっている。地形は全般に急峻で、標高150～250m程度の土地にわずかに広がる谷間が主な居住域で、足羽川とその支流沿い等に集落が点在している。約92%を山林が占める中山間地域で、スギを主体とした森林資源の有効活用や自然環境の保全に取り組んでいる。 森林の状況 当地区の森林面積は17,851haで、民有林面積は15,633ha(87.6%)、そのうちスギを主体とする人工林面積は7,828ha(50.1%)である。 また、民有林のうち、保安林として水源涵養保安林、土砂流出防備保安林等7,888haが指定されており、森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに約7,828haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する国民の期待が高まっていたところである。 また、当地域には森林整備を効率的に実施するための根幹となる林道等の路網が十分整備されてなかったことから、適切な森林施業の遅れが目立っていた。 このため、林業生産基盤の整備や森林の公益的機能の高度発揮等を目的として居住地周辺の森林整備を実施するとともに、施業の必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、森林整備を促進することを目的に林道を整備したものである。 また、地区内集落の生活環境の改善や住民の安全・安心を確保するため、集落林道、健康増進広場、防火水槽の整備を実施した。 (事業概要) 居住地森林環境整備 いけだ 池田地区 間伐等 54.15ha 森林基幹道整備 おおの いけだ 大野・池田線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,298m 利用区域 1,848ha いまじょう いけだ 今庄・池田線 車道幅員 4.0m 開設延長 385m 利用区域 1,294ha 森林管理道整備 やまだ しみずだに 山田～清水谷線 車道幅員 3.0m 開設延長 2,013m 利用区域 339ha のじり ちよたに 野尻・千代谷線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,579m 利用区域 265ha つねやすさらお 常安皿尾線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,360m 利用区域 25ha 改築延長 140m かんむりやま 冠山線 車道幅員 3.0m 改良延長 723m(5箇所) 集落林道整備 つじ なかで 辻・中出線 車道幅員 2.0m 開設延長 780m 林業集落内健康増進広場整備 いなり 稲荷公園 運動広場 1,900㎡ 植栽 250㎡ トイレ1棟 ベンチ1式 林業集落内防災安全施設整備 ひろせ うおみ 防火水槽 広瀬地区 40㎡級1基 魚見地区 40㎡級1基 総事業費 1,434,143千円 (当初事業費 960,000千円)			
----------	---	--	--	--

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	平成23年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 主伐中心の施業から間伐等中心の施業に移行（木材生産量の減少及び販売単価の低下）する一方、平成14年度に森林基幹道2路線の整備を追加した。 <table><tr><td>総便益（B）</td><td>2,888,684千円</td><td>（事業採択時</td><td>3,349,621千円）</td></tr><tr><td>総費用（C）</td><td>2,079,860千円</td><td>（事業採択時</td><td>1,024,152千円）</td></tr><tr><td>効果分析（B / C）</td><td>1.38</td><td>（事業採択時</td><td>3.27）</td></tr></table>	総便益（B）	2,888,684千円	（事業採択時	3,349,621千円）	総費用（C）	2,079,860千円	（事業採択時	1,024,152千円）	効果分析（B / C）	1.38	（事業採択時	3.27）
総便益（B）	2,888,684千円	（事業採択時	3,349,621千円）										
総費用（C）	2,079,860千円	（事業採択時	1,024,152千円）										
効果分析（B / C）	1.38	（事業採択時	3.27）										
事業効果の発現状況	集落周辺にあって手入れを必要としていた森林約54haの間伐等が実施され、森林の公的機能が維持増進された 林道整備により、林業施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られ、整備前5年間の間伐面積約119haが、整備後5年間で約208ha（1.7倍）に増加した。 健康増進広場の整備により、林業者及びその家族を中心とする住民の余暇時間の有効活用が図られ健康増進や地域交流に寄与している。 防火水槽は、山林や住宅における火災発生時の初期消火用の設備として機能を果たしている。												
事業により整備された施設の管理状況	区域内の森林は、森林所有者および池田町森林組合により、間伐等が適切に実施されたため良好な管理状態にある。 林道は、池田町が定めた林道規則に基づき、適切に管理され、年数回の草刈、側溝清掃、路面の整正等が行われ良好な維持管理状況にある。 健康増進広場は、池田町教育委員会により、年2回の草刈り及び週1回のトイレ清掃が行われ適正に管理されている。 防火水槽は、南越消防組合の台帳に登載され、消防法に基づき、常時使用できるように南越消防組合が年2回の確認、施設の機能診断を実施し適切に管理されている。												
事業実施による環境の変化	居住地周辺における健全な状態のスギ林が整備され、森林の景観が向上した。 林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により林業労働者の労働条件の改善や作業コストが低減され、森林整備が促進されるなど、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上している。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。 防火水槽の設置により、山林や住宅火災が発生しても早期に消火できる態勢が整備された。												
社会経済情勢の変化	林道の整備により、高性能林業機械の搬入や運搬車両の大型化が可能となり、労働強度の軽減や作業コストの低減が図られ、林業生産性が向上しつつある。 池田町森林組合が当地区内の森林整備を担っており、森林生態系の保全に配慮した適切な管理・経営が積極的に行われている。												
今後の課題等	森林施業の実施に対する意欲が徐々に改善されているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況は未だ十分とは言えないことから、今後、林道、林業専用道、森林作業道等の路網の整備や施業の集約化、高性能林業機械の導入等により、機動力を高め、効率的かつ低コストな施業を推進し、林業生産性を向上させる必要がある。 また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。 ・地元の意見： 森林基幹道については、全体計画としては完了していないため今後も引き続き整備を促進するとともに、必要な間伐等が積極的に行われるようさらなるPR活動をする必要がある。（福井県） 林道整備により、これまでに比べ木材生産や森林整備が促進されており、今後とも関係機関と連携して推進を強化していきたい。なお、野尻・千代谷線については、全体計画としては完了していないため森林整備促進のためにも今後も引き続き整備していく。（池田町）												
評価結果	・必要性： 森林の公的機能の維持増進、森林施業を効率的に行う基盤となる路網整備、山村生活の活性化を図る健康増進広場や生活の安全・安心を確保する防火水槽等の整備が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現地に応じた工種・工法で計画が作成されるとともに、事業実施にあたって切・盛土量の抑制等コスト縮減に努められているとともに、間伐材が林道整備に積極的に活用されていることから、効率性が認められる。 ・有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上した結果、森林整備が促進されており、今後も一層の効果の発現が見込まれる。また、集落林道整備や防火水槽、健康増進広場の整備により住民の生活の安全・安心や健康増進に寄与しており、有効性が認められる。												

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林居住環境整備事業

都道府県名:福井県

地域(地区)名:^{イタダ}池田地区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	115,572	
	流域貯水便益	57,966	
	水質浄化便益	98,696	
山地保全便益	土砂流出防止便益	122,699	
	土砂崩壊防止便益	45,236	
環境保全便益	炭素固定便益	109,346	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	40,137	
	木材生産確保・増進便益	664,739	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	434,371	
	森林管理等経費縮減便益	15,323	
	森林整備促進便益	589,223	
一般交通便益	走行時間短縮便益	20,458	
	走行経費減少便益	1,876	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	94,966	
	ふれあい機会創出便益	171,166	
	フォレストアメニティ施設利用便益	120,025	
災害等軽減便益	災害時迂回路確保便益	20,290	
	災害復旧経費縮減便益	146,592	
維持管理経費縮減便益		895	
山村環境整備便益	生活安定確保便益	19,108	
総 便 益 (B)		2,888,684	
総 費 用 (C)		2,079,860	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,888,684}{2,079,860} = 1.38$		

森林居住環境整備事業 池田地区(福井県) 概要図

越前市

凡 例	
市町村界	
区 域	
主要国道	
主要河川	
施工箇所番号	①
施工箇所	



山田～清水谷線



稻荷公園

国道476号

池田町役場



防火水槽 広瀬地区

国道417号

池田町

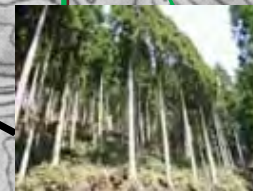


辻・中出線



南越前町

大野市



居住地森林環境整備



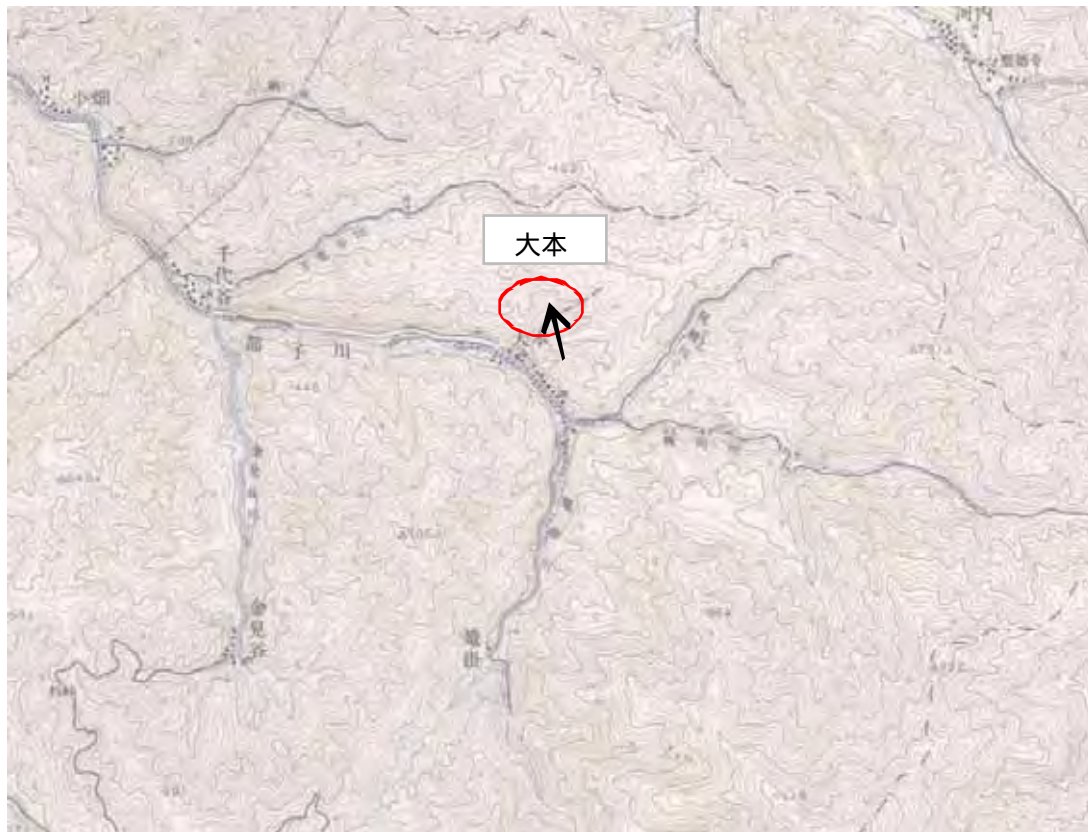
大野・池田線

①	居住地森林環境整備
②	森林基幹道 大野・池田線
③	森林基幹道 今庄・池田線
④	森林管理道 山田～清水谷線
⑤	森林管理道 野尻・千代谷線
⑥	森林管理道 常安皿尾線
⑦	森林管理道 冠山線
⑧	集落林道 辻・中出線
⑨	集落内健康増進広場整備 稻荷公園
⑩	防災安全施設 広瀬・魚見地区

事例説明

居住地森林環境整備

いけだ おもと
池田地区(大本等) 間伐等 54.15ha



事例説明

森林基幹道整備 おおの いけだ 大野・池田線

開設 延長1,298m (全体22,000 m) 車道幅員4.0



事例説明

森林管理道整備 ^{やまだ}山田 ~ ^{しみずだに}清水谷線 ^{せん}

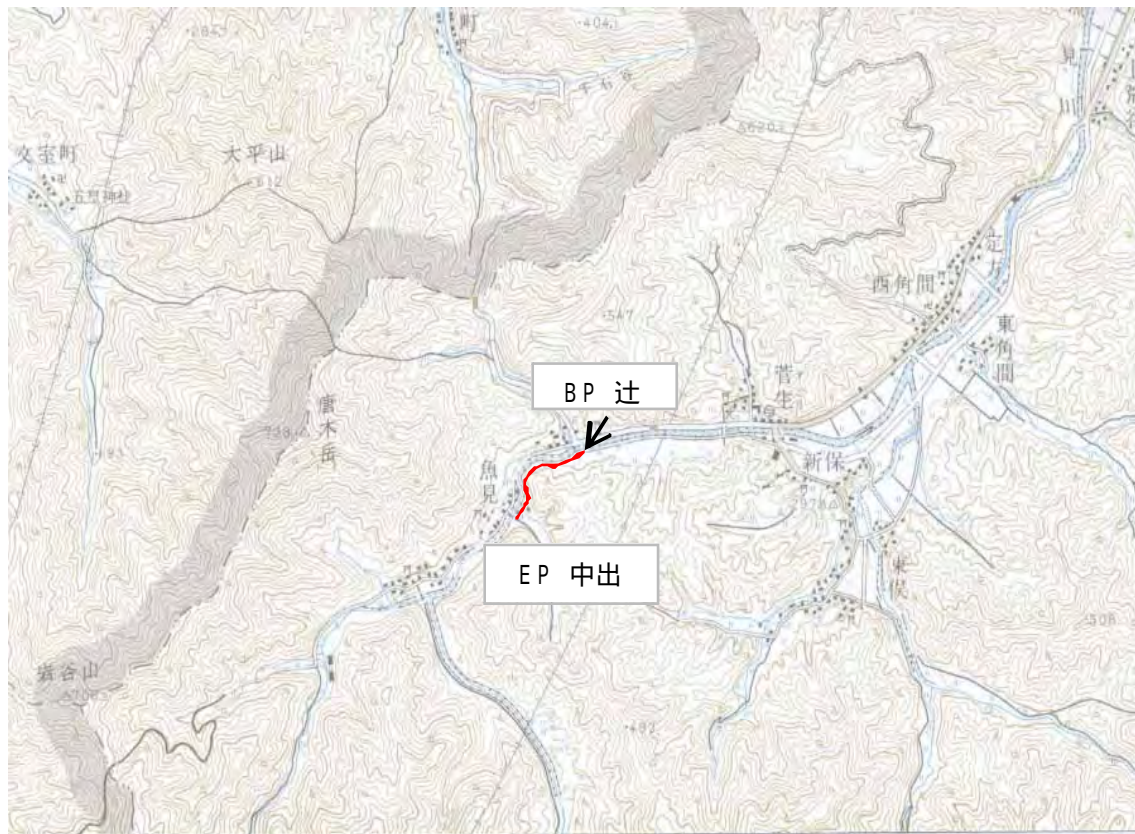
開設 延長2,013m (全体8,785m) 車道幅員3.0m



事例説明

集落林道整備 つじ なか で 辻・中出線

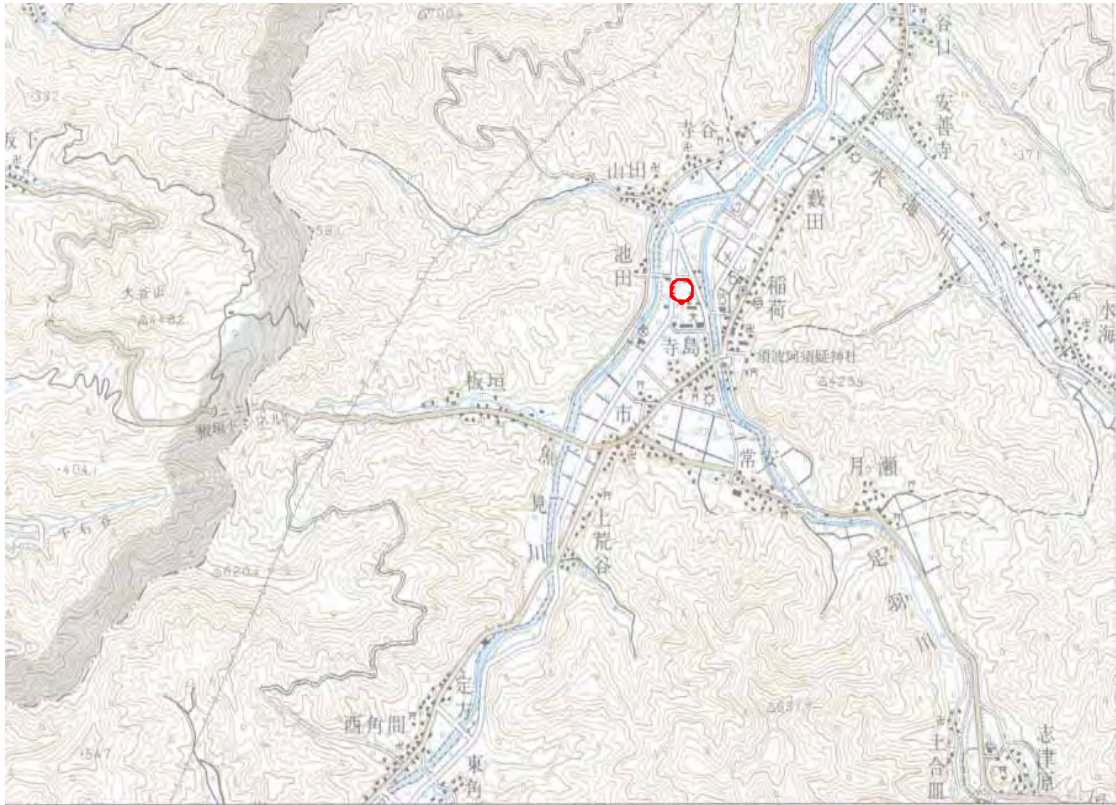
開設 延長780m(全体780m) 車道幅員2.0m



事例説明

集落内健康増進広場整備 いなり こうえん 稲荷公園

運動広場1,900㎡ 植栽250㎡ トイレ1棟 ベンチ等



事例説明

林業集落内防災安全設備整備 防火水槽

ひろせ
広瀬地区 40 m³級 1基

